

平成30年度 大阪府立福井高等学校 第2回学校運営協議会議事録

日時 平成30年11月21日(水) 14:00~16:15

場所 本校 校長室

1 校長あいさつ

本日は、直接、授業を見ていただくこととなります。

昨年度は、結構多くの授業をみてもらいましたが、今回は、数を絞って、必修科目と、総合学科ならではの系列選択科目、外国ルーツの生徒の授業を見ていただき、アドバイスをいただきたい。

2 会長あいさつ

お忙しい中、授業見学楽しみにしています。

報告の際に、授業を見た感想など交換できればと考えています。

よろしくお願いします。

3 授業力向上に向けて

・授業見学週間の報告

*例年より、時期が遅く、初の試みで振り返りのワークを行った。

取り組み① 推薦者6名の授業を必ず1回見るようにアナウンス
授業見学の様子の写真紹介

取り組み② 自薦授業の見学 15名

取り組み③ 振り返りワーク

→ 全体で統一見解を持って今後の指導を行っていききたい。

*昨年の協議会で授業力を向上させてほしいという意見をいただいた。

茨木市で進んだ授業をしているようなので、北中学校の公開授業なども紹介いただいた。

いろいろな授業を見に行くことが重要であるため、

まずは、同僚の授業を見ることに重点をおいた。

今回の6人の授業については、「すっきりと黒板を使っている」点では一致していた。

・授業見学へ

- | | | | |
|-----------|----|-----------|------------|
| ① 1-2教室 | 1年 | 国語総合 | (必修科目) |
| ② 多目的4B教室 | 3年 | 人体の不思議 | (系列選択科目) |
| ③ ドリカムルーム | 3年 | 地域と世界 | (系列選択科目) |
| ④ 図書室 | 1年 | 国語総合(日本語) | (コスモス抽出授業) |

・見学後、意見交換

【委員】

- ・昨年度からの変化：一つの授業を作るのにかけている時間が多くなっていることを実感
- ・もっと見たい、聞きたいと感じる授業になっている。

人体の不思議：

- ・映像が流れると生徒のスイッチが入った。
- ・研究者の様子が流れて、その方の言葉で語られているのを見るのは良い。
- ・スライドの色を工夫しては？：()の部分は色を変える。
- ・スライドの背景色はあの色で良いのか？

古典：

- ・例をもっと身近なものでできないのか
- ・「今日の狙い」の板書の整理に工夫を：
項目も題名も◎で項目立てされていたので、わかりにくい。
- ・「この前言ったけれど」では伝わりにくいので、教科書の本文が提示できれば良い。

【学校】

- ・校内の予算、ICTを用いた授業を推進するために、プロジェクターの持ち運びが大変なので、後援会の予算で、新たに3つの教室にプロジェクターを設置する予定。

【委員】

- ・普通の黒板に写せるようなシステムがあれば、なお良い。

【学校】

- ・日本語の授業について、3, 4人で授業をしている。
授業中の、ちょっとした雑談も、多文化理解に繋がっている。
(例：トイレの話に、汲み取り…から、風呂の話、中国では、湯舟は使わない。など)

【委員】

- ・相互授業見学や、自薦の授業、その活動がベースとなって
みんなで頑張っていることが伝わってきた。
今年の取り組みが、初めの一步、これからホップステップと上がっていくのを期待する。

4 事務局より報告

・多文化共生について

- * 4年目を迎えた。1年生が19名入学、最大3学年で36名。
- * 総合学科の授業のなかでいろいろな力をつけていく。
- * 日本語能力をつける。英語の力をつける。中国語検定などで資格などを取っている。
- * 各種、社会とのつながり。ボランティア活動を通じて、特技を発揮している。

・総合学科推進会議の中間報告

- * 現1年生35期生より、大学入試が大きく変わり、また、39期生からは、新学習指導要領が始まることとなるため、カリキュラムの大幅変更を検討している。
- * 6つの系列で、議論を進めることに決定。
 - 福祉・保育・看護 ○国際 ○スポーツ
 - 情報 ○大学進学 ○芸術
- * 37期生から、新学習指導要領にスムーズに移行可能な新しいカリキュラムに変更できるよう、検討中。
- * ドリカム授業を利用して、「ポートフォリオ」に対応していく。
- * 「福井ドリカムフェスタ」の内容の報告
- * 意見交換

【校長】

- ・ 現在の問題は不本意選択が多い点である。
実際に授業が始まって「思っていた内容と違う」であったり、
選考に漏れたなどの理由で、第2希望の科目になってしまう生徒がいる。
- ・ 大きいのは中学校からの「総合学科は何をしたいのかわからない」というご意見をいただく。最初から内容が決まっている普通科に人気に戻っているのが現状。
- ・ 系列の色をしっかりと出していき、ニーズに応じた、
ルートが明確になるようなカリキュラムになるように議論しているところである。

【委員】

- ・ 選択にとまどう生徒に対し、6つの系列ぐらいが適切で、導く必要がある。
- ・ 6つを見てみたら、福井高校の進路を考えるとそれらが網羅されている。
- ・ 国際と大学進学との違いがはっきりしない。
英検の取得も被っているのではないか。すみわけを考える必要がある。

【教頭】

- ・ 特別枠の生徒もあり、他の高校と関わり方が違う。そのあたりも国際に含めていきたい。

・国際交流について

- * 夏休み期間に、ホームステイを含めたスタディーツアーを行った。
 - オーストラリア（7/30～8/13：15日間） 参加者：2年3名
 - 韓国（8/14～8/17：4日間） 参加者：1年3名、2年2名、3年5名

・人権保健部の取り組み

* 1年：携帯スマホ問題 SNS等々、年々しっかりと取り組まないといけなくなっている。

* 2年：障がいがある生徒も増えてきている、教員も含めて取り組んでいる。

* 生徒相談関係：保護者の方も相談したいという人が年々増えている。

* 質疑応答

【委員】

・授業中、騒がしいクラスもあるが、どのように対応しているのか？

【回答】

・学校としてシッカリ指導しているので、授業中に急に騒ぐなどは落ち着いてきている。

今でも50分の授業で、集中力が持続しない生徒がクラスに数名いる。

頭ごなしに叱っても、改善しないので、丁寧に説諭している。

【委員】

・その対応はどなたが？

【回答】

・学年室があって、学年担当の教員が対応している。

・高校生になると次の出口が社会になる。

社会に出たときに、何ができるかの理解ができているようにしたい。

・チームとして対応していくことが必要。

【委員】

・先生方の負担はどうですか？

【回答】

・昨年までは、担任会を中心に学年運営をおこなっていたが、

今年度から学年団で会議するような形に組織変更をおこなった。

【委員】

・中学校からの引継ぎを大切にしてほしい。

【回答】

・引継ぎをもとに、非常に丁寧に対応していく必要がある。

保護者との連絡を密にして、丁寧に対応していきたい。

【委員】

・スクールカウンセラーが入っている。保護者と話をしてもらうことで、

担任と3者で協力して対応できるのではないか。

カウンセラーだけでなくソーシャルワーカーもふまえて取り組まなければならない。

【回答】

・エンパワーメントスクールには府費でソーシャルワーカーがつくが、

本校は校内的にやっている。

・広報活動について

*中学校訪問 年2回 去年より1, 2校、訪問を増やした。

*オープンスクールについて

1回目は昨年度と同じくらい申し込みがあったが台風で少し減少。

2回目、昨年より減少したが、おとしより少し多いぐらい。茨木工科、芥川と重なった。

*学校説明会 本校であと2回残す。

*出前授業 2カ所行っている。

*オープンスクールの申し込みが、HP からが半分以上となった。

5 まとめ

【校長】

・教員の健康管理にも助言いただき、ありがとうございました。

頂いたご意見の通り、授業力向上には備品や環境設備も必要であると考えている。

子どもたちも先生たちも笑顔で過ごせるような学校にしていきたい。

次回 平成31年3月中旬に行う予定 [校長室]